

令和３年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年３月26日認定）
（最終変更 令和４年３月２日）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業	6
5 千波公園整備事業	7
6 都市景観形成助成事業	8
7 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	9
8 三の丸地区周辺景観整備事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
1 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	11
2 民俗芸能実演支援事業	12
3 文化財・まちなみ巡り事業	13
4 観光周遊バス運行事業	14
5 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	15
6 歴史的風致情報発信推進事業	16
7 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推進	17
8 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	18
9 文化財に関する普及・啓発の推進	19～20
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
1 弘道館・水戸城跡周辺整備完了	21～22
⑥その他(効果等)(様式１－６)	
1 水戸市への観光客数の推移	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	24
--------------------------------	-----------

評価軸①-1

組織体制

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ:計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、開催に要する議題がなかったことから今年度は開催しなかった。 【各会議の実施回数】 水戸市歴史的風致維持向上計画協議会（1回）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

水戸市歴史的風致維持向上計画協議会

(会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長)

○第1回 : 令和3年7月6日開催

・令和2年度進行管理・評価シートについて



協議会の開催状況

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
水戸市景観計画の活用		水戸市都市計画課景観室	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び景観法により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和3年度届出件数:5件(重点区域内)、40件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館・水戸城跡周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った(令和3年度許可件数:15件(特別規制地区内)733(水戸市全域))。平成31年度には、弘道館・水戸城跡周辺地区で区域を拡大した。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。 ④景観重要建造物の指定:景観計画に定めた景観重要建造物の指定の方針に即し、令和3年度に大手門、二の丸角櫓、土塀を景観重要建造物に指定した。(指定第1号)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。			
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他			
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			
④景観重要建造物の指定 良好な景観の形成に重要な建造物を、景観法に基づき指定し、地域の個性ある景観づくりの核として、その維持・保全及び継承を図ることを目指す。			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
弘道館公園整備事業		茨城県都市整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和10年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。 ①公開方法に関する整備 ②情報提供に関する整備 ③公園施設の活用に関する整備 ④藩校時代の諸施設の再現検討		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
弘道館の歴史性を踏まえた環境整備のため、弘道館公衆用トイレ改修にあたって文化財確認調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	史跡内での公衆用トイレの建替えに係る現状変更について、文化庁との調整に想定以上の時間を要し、事業を進められなかった。整備計画に基づく文化財の保護と活用を円滑に進めるため、文化財保護と活用の観点から解決すべき課題についての相互理解やスケジュール感の共有などを事業担当課、市・県文化財部局及び文化庁間で引き続き連携を図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
ア 公衆用トイレ(文化財確認調査)		イ 公開方法の見直し2か所(写真は番所)	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

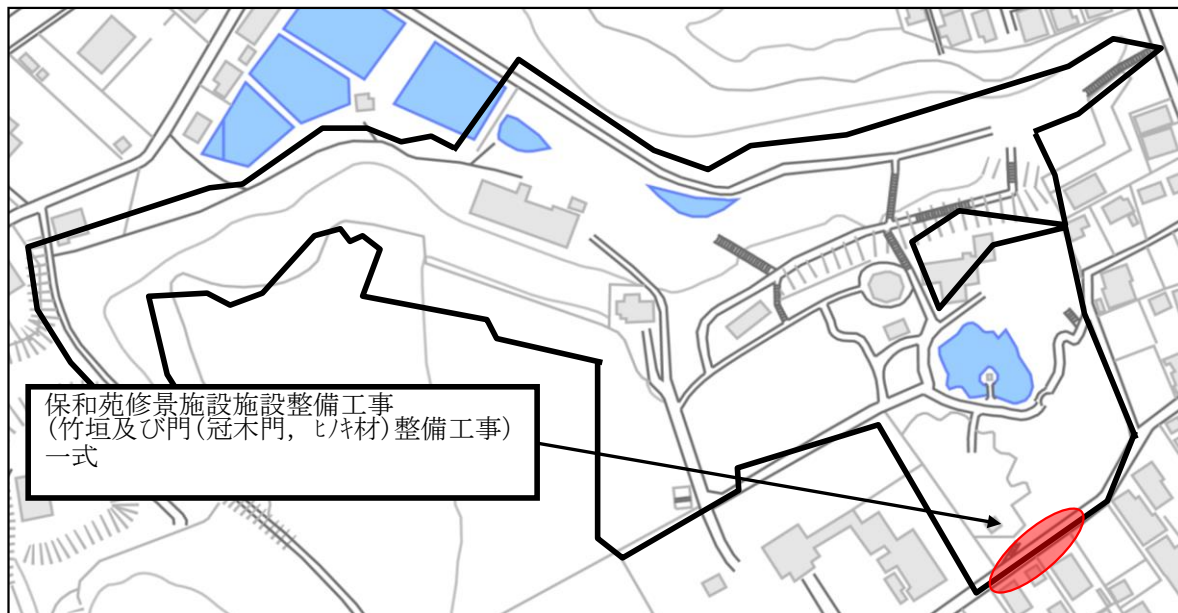
項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
偕楽園公園整備事業		茨城県都市整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載 している内 容	「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。 ①偕楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など ②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
偕楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和3年度は次に掲げる事業を実施した。			
①梅桜橋エレベータ改修工事 ②好文亭(楽寿楼)耐震補強工事 ③好文亭料金所脇トイレ工事 ④石張園路整備工事(見晴亭前 L=16m 本園下L=40m) ⑤解説板整備(N=8基) ⑥偕楽園景観ガイドラインの策定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①梅桜橋エレベータ改修 ②好文亭耐震補強 ④石張園路整備(本園)			

評価軸③-3

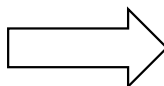
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		担当	現在の状況
保和苑整備事業		水戸市公園緑地課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)		
計画に記載 している内容	園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した 景観づくりを進めていく。 ①西側の修景施設整備:植栽と散策路、及び休憩施設の配置 ②園路の整備:バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度においては、修景施設整備工事(令和2年度繰越事業)(竹垣設置 L=44.4m)及び和風庭園にふさわしい修景施設として、門(ヒノキ材)を整備した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致との調和を図りつつ西側修景施設や園路整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上に努める。	

状況を示す写真や資料等



施工箇所
施工前



完成

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		令和3年度
項目		評価対象年度 担当 現在の状況
水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業		水戸市歴史文化財課 ■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和3年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	市民との協働により、水戸城の復元・整備を行う。 ①水戸城大手門の復元 ②二の丸角櫓の復元 ③大手門と二の丸角櫓周辺の土堀の整備 ④二の丸角櫓へのアプローチの整備	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①大手門:令和2年2月に工事完成、供用開始 ②二の丸角櫓:令和2年10月に本体工事完成、令和3年3月に外構工事完成、角櫓内部は建物に影響を及ぼさない範囲で展示機能を設置 ③土堀:令和2年10月に工事完成 ④アプローチ:令和3年6月に工事完成		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



水戸城二の丸角櫓外構完成



水戸城二の丸角櫓展示



水戸城二の丸角櫓完成記念式典

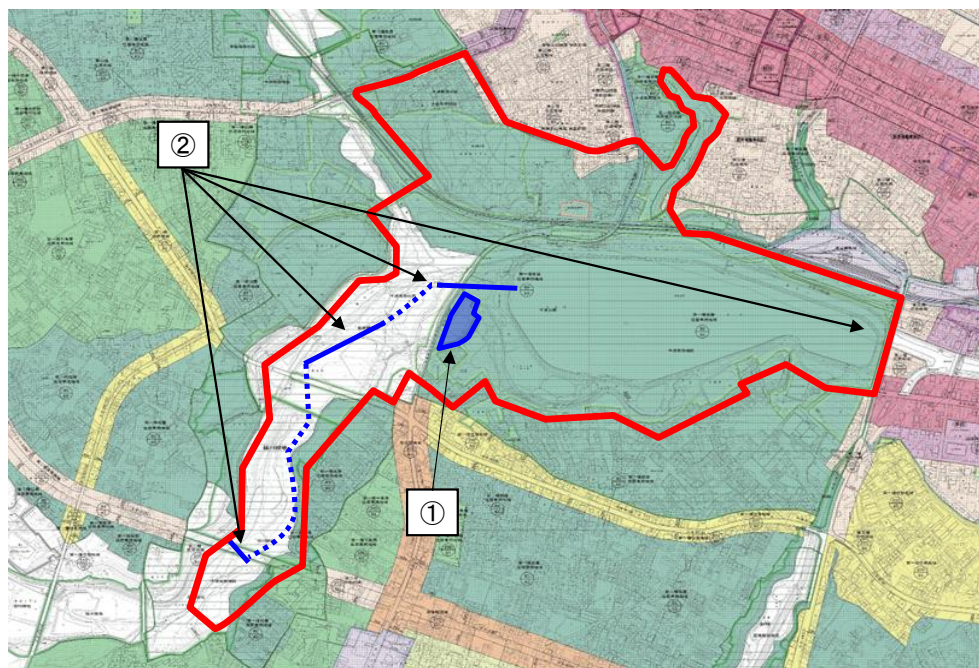


水戸城二の丸角櫓一般開放

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		令和3年度
項目		現在の状況
千波公園整備事業		水戸市公園緑地課
		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度	
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業(個別補助)	
計画に記載している内容	借楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度においては、元年度において取得したボウリング場跡地の整地及び駐車場整備工事(令和2年度繰越事業)、湖の水質浄化のための導水施設整備(令和2年度繰越事業)を行った。具体的な施工箇所は以下の通り。 ①ボウリング場(レイクサイドホール)跡地整備 ②導水施設整備		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	今後千波公園においてはパークPFI事業等さらなる賑わいの創出に向け、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設の充実や千波湖の水質改善に努めていく。	
状況を示す写真や資料等		



施工箇所①



施工前



施工中

施工箇所②



施工前



完成

評価軸③-6

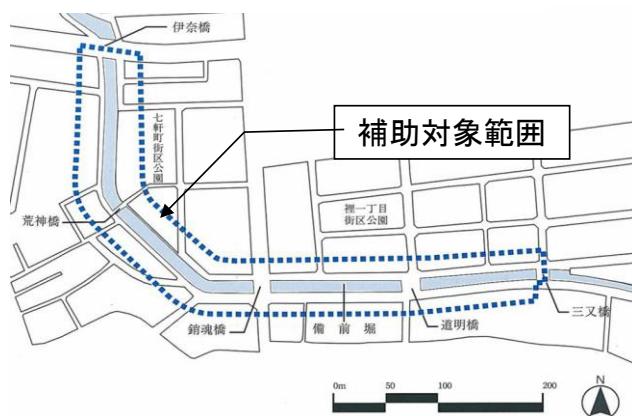
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和3年度		令和3年度
項目		担当
都市景観形成助成事業		水戸市都市計画課景観室
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成15年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して助成金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの 等	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
令和元年度に水戸市都市景観形成補助金を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とした。 令和3年度実績 ○備前堀沿道地区（申請0件、交付0件） ○弘道館・水戸城跡周辺地区（申請3件、交付3件）		
進捗状況	※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
備前堀沿道地区ではこれまで建造物12件に対し補助金を交付した実績があり、着実に進捗している。弘道館・水戸城跡周辺地区においても、これまで5件に対し補助金を交付した。今後も、制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を活かした都市景観の形成や維持向上に努める。		

状況を示す写真や資料等

◆水戸市都市景観形成補助金事業対象範囲

○備前堀沿道地区



○弘道館・水戸城跡周辺地区



弘道館・水戸城跡周辺地区の補助事例（角櫓東側下県道沿いの看板の改修）



施行前(水色と黄色ベース)



施工後(茶色ベースに改修)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業		水戸市市街地整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業)		
計画に記載している内容	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確認し、歴史的な景観に配慮した整備を行うことで、水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指す。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸駅前の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点となるよう、施設計画の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		施設計画の見直しがまとまったことにより、令和4年度から事業を再開していく。	
状況を示す写真や資料等			
・施行区域及び現況写真			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
三の丸地区周辺景観整備事業	水戸市市街地整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成31年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

三の丸周辺地区において、歴史的施設等の案内経路を示した案内表示板を設置（電力分電盤に貼付）したことにより、歴史的資産の周知・案内、及び歴史的景観の保全を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

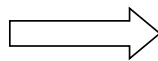
水戸市第7次総合計画の策定において、事業内容について検討する。

状況を示す写真や資料等

令和3年度に実施した案内表示板の設置について



従前(分電盤)



案内表示板設置

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		担当	現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業		水戸市歴史文化財課	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
5団体（大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会）に対し補助金を交付した。 ・交付金額：560千円			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



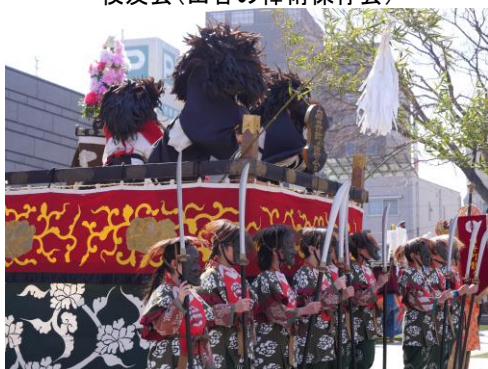
大串ささらばやし保存会



大野みろくばやし保存会



杖友会（田谷の棒術保存会）



向井町散々楽保存会



水戸若鷺会

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
民俗芸能実演支援事業		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供していく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
第30回風土記の丘ふるさとまつりにおいて実演を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症終息の目途が見えないため、実演機会の確保に困難が生じている。感染症対策を継続し、各地域内でのイベントの参加を促し、伝統芸能の伝承、公開に努める。		
状況を示す写真や資料等			



記録作成等の措置を講ずべき
国選択無形民俗文化財
「大串ささらばやし」



記録作成等の措置を講ずべき
国選択無形民俗文化財
「大野みろくばやし」

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
文化財・まちなみ巡り事業		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸郷土かるた：令和3年8月に市内の小学生親子10組（20名）を対象に、かるたで読まれる各所を巡る事業を企画した。（一部中止） 史跡めぐり：令和3年10月に市内の20名を対象に、県内の日本遺産を巡る事業を企画した。（一部中止）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により、史跡めぐり及び水戸郷土かるたの各1日が中止となった。昨年に続き終息の目途が見えないが、感染症対策を継続し開催出来るよう努める。		
状況を示す写真や資料等			
○令和3年度水戸郷土かるためぐりの様子			
			
六地藏寺	弘道館	弘道館 渋沢栄一企画展見学	
○令和3年度史跡めぐりの様子			
			
牛久シャトー	久野陶園	弘道館	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
観光周遊バス運行事業		水戸市観光課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
(1)観光漫遊バス～あじさいと御城印編～ 期 日：令和3年6月12日(土曜日)・13日(日曜日) ルート：保和苑→水戸駅南口→(弘道館周辺)→弘道館前→水戸八幡宮→保和苑 (2)観光漫遊バス～桜とライトアップ編～ 期 日：令和4年3月26日(土曜日)・27日(日曜日) ルート：水戸駅南口→(弘道館周辺)→水戸城大手門前→護国神社前→(偕楽園周辺)→千波湖西駐車場→水戸駅南口 ○上記以外の令和3年度に予定していた「GW満喫編(5月上旬)」、「萩と月見編(9月下旬)」 「秋の水戸満喫編(11月中旬～下旬)」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	実施に向けては、新型コロナウイルスの感染防止対策を検討し、準備しているものの、感染拡大状況に鑑み、計画していた事業の一部は中止とした。 今後も、安全・安心にバスを利用していただけるよう、感染防止対策の徹底に努めるほか、環境に優しい電気バスや、付加価値の高いスカイバスを運行することで、事業効果に厚みを持たせていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
弘道館前に停車する観光漫遊バス			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業		水戸市観光課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	梅まつり(偕楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
(1)水戸のあじさいまつり 期間: 令和3年6月12日(土曜日)～7月4日(日曜日) 会場: 保和苑及び周辺史跡 内容: あじさいクイズラリー、フォトスポット 等			
(2)水戸黄門まつり ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度は中止とし、昨年度同様リモートにて開催した。 会場: 千波湖及び国道50号(水戸駅北口～大工町交差点間) 内容: 花火、神輿渡御、山車巡行 等			
(3)水戸の梅まつり ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度は開幕を延期し、さらに、開催期間を延長した。 期間: 令和4年3月1日(火曜日)～3月27日(日曜日) 会場: 偕楽園・弘道館 内容: 水戸の梅大使によるお出迎え 等 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集客及び飲食を伴うイベントは中止とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		令和3年度の各まつりは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模縮小による開催や、やむなく中止となったものもある。 今後とも、各まつりごとに、関係者等と連携・協力しながら、感染防止対策を含め、コロナ禍でも安全に開催することができる手法を検討するとともに、引き続き、本市の歴史や文化への興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる取組を行っていく。	



水戸のあじさいまつりの様子



水戸の梅まつりの様子

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
市広報誌・SNS・市HP: 水戸城二の丸角櫓完成記事, 水戸市地域文化財募集記事 文化遺産説明板: 水戸城二の丸角櫓(新設), 藤田東湖説明板(建て替え) 文化財案内標識: 水戸城関係案内標識(新設)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 水戸市広報誌「広報みと」令和3年6月1日号 水戸城二の丸角櫓完成記事 水戸市「twitter」 オンライン講座「茨城の近世城郭」募集記事 			

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		令和3年度
項目		現在の状況
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		水戸市歴史文化財課
		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
【令和3年度に実施した文化財の調査】		
①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(19回の内、3回はコロナウイルス感染拡大のため中止)		
②関連講座の開催(2回)		
②市指定文化財候補調査(3件)		
③地域文化財認定候補調査(4件)		
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
※計画年次との対応		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



水戸市新指定文化財
水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦



水戸市新指定文化財
六角宝幢形経筒



新認定地域文化財
満蒙開拓幹部訓練所 事務棟・講義棟



新認定地域文化財
見川小学校のシダレザクラ

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
文化財の修理, 整備, 防災事業の推進		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】 文化財に対する保護・整備を拡充するため, 所有者・管理者等との連携を図り, 必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】 防災体制, 設備の整備を図るとともに, 防災訓練や啓発事業を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
【文化財の修理事業】 ○葉王院本堂屋根修理事業 雨漏りが発生している本堂屋根について, 修繕に向けて文化庁の指導を受けながら所有者との協議を行った。 ○綿引家住宅保存修理事業 主屋の屋根について挿し茅・葺き替えの修理が完了した。 令和4年度は倉の屋根について挿し茅修理を予定している。 ○会沢正志斎の墓保存修理事業 墓石のき損について修理を完了した。 ○絹本著色 聖徳太子絵伝(断簡)保存修理事業 聖徳太子絵伝(断簡)保存修理について修理を完了した。 ○六地藏寺のスギき損及び修理事業 6月に発生したき損について, 修理を完了した。 ○鹿島神社拝殿屋根修理事業 鹿島神社拝殿屋根について, 経年による劣化が見られ, 修理について所有者との協議を行った。 【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの企画(令和4年1月26日, 於: 六地藏寺) 文化財所有者や近隣住民に対して文化財愛護と防火意識の高揚を図るため, 国指定文化財朱漆足付盥他23件が管理されている六地藏寺からの出火を想定した防災訓練を企画した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
水戸市指定文化財 絹本著色 聖徳太子絵伝(断簡)			
			
修理前		修理後	

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和3年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
【令和3年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】 令和3年2月8日～令和3年12月26日 パネル展「渋沢栄一と水戸の人々」(二の丸展示館) 令和3年4月21日 水戸城見学会(歴史文化財課) 令和3年6月19日 歴史セミナー「河和田の古城を掘る～近年の発掘調査から～」(埋蔵文化財センター) 令和3年7月10日 世界遺産登録推進フォーラム(世界遺産推進室) 令和3年7月11日 講座「天狗党ってなに？」(歴史文化財課) 令和3年7月30日 いきいき出前講座「文化財保護関係手続きと水戸市埋蔵文化財行政の実態」(埋蔵文化財センター) 令和3年8月2日 「わたしは戦争を忘れないー「あの場所」での日々ー」(博物館) 令和3年8月4日 「令和3年度水戸郷土かるためぐり」(歴史文化財課) 令和3年8月6日 いきいき出前講座「発掘調査からみた笠原水道の歴史」(埋蔵文化財センター) 令和3年8月9日 「このまちの空襲を若者たちが伝えてみたーオンラインでつなぐ東京と水戸ー」(博物館) 令和3年10月16日～11月21日 特別展「徳川頼房ー初代水戸藩主の軌跡ー」(博物館) 令和3年10月16日～令和4年2月20日 企画展「悠久の「水戸市ー遺跡に刻まれた人と水の歴史ー」(埋蔵文化財センター) 令和3年10月20日 「令和3年度史跡めぐり」(歴史文化財課) 令和3年10月22日 いきいき出前講座「発掘調査からみた双葉台及びその周辺地区の遺跡」(埋蔵文化財センター) 令和3年11月5日・7日・11日・15日・19日・25日・28日 水戸城見学会(歴史文化財課) 令和3年11月13日～令和4年2月20日 「縄文ファッションストリート2021」(埋蔵文化財センター) 令和3年11月14日 水戸御祭禮行列(水戸東照宮) 令和3年11月20日 みと歴史講座「徳川頼房の領内整備」(博物館) 令和3年11月24日 いきいき出前講座「甦る水戸城」(歴史文化財課) 令和3年12月4日 みと歴史講座「戊午の密勅と小金屯集」(博物館) 令和3年12月14日 講座「渋沢栄一と水戸の学問・人々」(世界遺産推進室) 令和3年12月14日・18日 水戸城見学会(歴史文化財課) 令和3年12月18日 みと歴史講座「弘道館本開館をめぐって」(博物館) 令和3年12月19日 歴史セミナー「国指定史跡台渡里官衙遺跡の発掘調査」(埋蔵文化財センター) 令和4年1月15日 オンライン講座「茨城の近世城郭」(歴史文化財課) 令和4年1月22日 歴史セミナー「内原図書館周辺の遺跡について」(埋蔵文化財センター) 令和4年2月26日 歴史セミナー「常澄図書館周辺の古代遺跡について」(埋蔵文化財センター) 令和4年3月20日 歴史セミナー「東部図書館周辺の縄文時代」(埋蔵文化財センター)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			



水戸城見学会



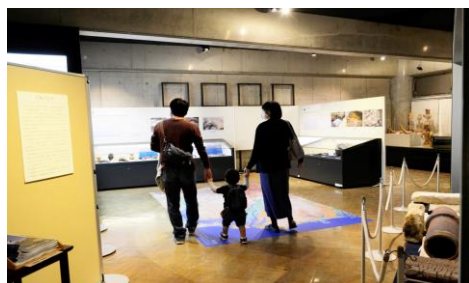
オンライン講座「茨城の近世城郭」



パネル展「渋沢栄一と水戸の人々」



世界遺産登録推進フォーラム

企画展「悠久の`水`戸市
一遺跡に刻まれた人と水の歴史一」

特別展「徳川頼房一初代水戸藩主の軌跡一」

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
埴輪の下、和みの時間		令和3年4月1日	茨城新聞
集団戦体験の軍事演習		令和3年4月1日	毎日新聞
水戸との関わりパネルで紹介 弘道館で企画展		令和3年4月8日	産経新聞
水戸城復元角櫓が完成		令和3年4月24日	読売新聞・毎日新聞・東京新聞・茨城新聞
二の丸角櫓に説明板		令和3年5月23日	茨城新聞
洪沢栄一直筆の書 弘道館で特別公開		令和3年5月29日	茨城新聞・東京新聞・読売新聞
偕楽園の改修本格化		令和3年6月3日	茨城新聞
27日から水戸城二の丸角櫓 公開		令和3年6月10日	茨城新聞
水戸の「保和苑」であじさいが見頃2年ぶりにまつり開催へ		令和3年6月11日	NHK・東京
洪沢視点で幕末史紹介 水戸市立博物館 水戸藩宛て書状初公開		令和3年6月19日	茨城新聞
弘道館・水戸城跡周辺整備完了		令和3年6月24日	茨城新聞・東京新聞・読売新聞
水戸城二の丸角櫓 復元祝う		令和3年6月27日	茨城新聞・東京新聞・読売新聞・NHK・朝日新聞
世界遺産へ可能性探る		令和3年7月11日	茨城新聞
弘道館 日本遺産認定継続		令和3年7月17日	読売新聞・茨城新聞
郷土かるた名所 親子で巡り学ぶ		令和3年8月6日	読売新聞
聖徳太子絵伝を修復		令和3年8月12日	茨城新聞
みこしで渡御トラックで 吉田神社秋季例大祭		令和3年9月26日	茨城新聞
水戸初代藩主「徳川頼房」展 水戸市立博物館		令和3年10月28日	よみうりタウン
水戸東照宮400年 壮麗な江戸絵巻再現		令和3年11月16日	茨城新聞・朝日新聞・毎日新聞・東京新聞・読売新聞
水戸・有賀神社「磯渡御」無病、健やかな成長願う		令和3年11月20日	茨城新聞
満蒙開拓 訓練の記憶		令和3年12月3日	読売新聞
「景観重要」指定を答申		令和3年12月10日	茨城新聞
「吉田松陰と水戸」弘道館ですすから開催		令和3年12月16日	産経新聞・よみうりタウン・茨城新聞・朝日新聞
ひな人形150体そろい踏み 水戸市立博物館		令和3年12月17日	東京新聞
偕楽園を守れ 文化財あつての観光だ		令和3年12月19日	茨城新聞
一橋徳川家の名品紹介		令和4年1月5日	茨城新聞
県内城郭 理解深める 水戸市教委 オンライン講座		令和4年1月21日	茨城新聞
水戸商の歴史伝える		令和4年1月28日	読売新聞
幕末と比較 水戸を散策		令和4年2月7日	茨城新聞
指定文化財に2点追加 鬼瓦と六角宝幢形経筒		令和4年2月11日	茨城新聞
好文亭創建時の眺望に 偕楽園県がガイドライン案		令和4年2月15日	読売新聞
気づきの旅 北関東悲劇の地を巡る		令和4年3月18日	NHK
地域文化財 新たに3件 空襲の痕跡残す木村家住宅など		令和4年3月23日	茨城新聞・毎日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			

弘道館・水戸城跡 周辺整備完了

6/24 完成

水戸市が進めてきた弘道館・水戸城跡整備事業が、二の丸角櫓の完成を受け完了した。弘道館・水戸城跡周辺地区には、弘道館をはじめ、橋詰門（東照門）、水戸新考館跡、義公生誕の地など、水戸城の歴史を伝える豊かな資源が現存する。水戸藩の藩校として弘道館は開かれ、幅広い分野の武士教育を行い、弘道館を舞台に「水戸学」が発展し、明治維新や近代日本の形成に大きな影響を与えた。歴史的景観に配慮された大手門や角櫓、白壁櫓、二の丸展示館など、水戸城跡周辺には見どころがたくさんある。

弘道館
「水戸が天下の魁となり、日本の国家を築き将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。
入 館 料 大人400円 子供200円 70歳以上200円
開館時間 2/29～3/30 9時～17時
3/31～2/19 9時～16時30分
休 館 日 12/29～31

水戸城二の丸角櫓
水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治中ごろまでに撤去されたが、2021年に復元される。水戸城の歴史に関する資料等を展示。
開館時間 9時30分～16時
※2021年6月27日より一般公開

水戸城大手門
明治時代に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。景観整備の一環として復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。
(2020年完成)

白壁櫓
二の丸付近では水戸城跡の整備が進み、美しい白壁櫓による歴史的景観を演出することができる。夜は幻想的にライトアップされる。

義公生誕の地
徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。

魅力引き出し、水戸らしさ再生

水戸市では、日本最大の弘道館をはじめ、数多くの歴史的資源を有する弘道館・水戸城跡周辺地区において、これまで水戸城大手門や二の丸角櫓などの歴史的建造物の復元に加え、白壁櫓や土塀などの景観整備を進めてまいりました。

このたびは二の丸角櫓の完成をもって、本地区の魅力ある歴史的景観の形成は完了となります。長年にわたり、多大なご支援とご協力を賜りました地域の皆様はじめ市民の皆様、関係者各位に心から感謝申し上げます。

今後は、水戸市と弘道館子会との協働による「古の水戸城跡復興記念事業」をはじめ、歴史ながら水戸の歴史や文化を伝える「水戸学の道」の活用等により、水戸ならではの歴史や文化、観光等の魅力を更に体験できる取組を積極的に実施しながら、本地区、ひいては水戸市の更なる認知度の向上、イメージアップに努めてまいります。

本整備事業の完了を契機といたしまして、本地区が、天下の魁・水戸にふさわしい、にぎわいのある拠点となり、多くの皆様に笑顔と活力を贈りますことをご祈念し、あいさついたします。

水戸市長 高橋 靖

水戸市議会議員 須田 浩和

このたびは弘道館・水戸城跡周辺地区の整備完了にあたり、市議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

弘道館・水戸城跡周辺地区は、文武の伝統が深く根付く歴史ある地域であるとともに、周々の歴史や文化も堪能できる本市を象徴する地区でございます。

そのような地区で、水戸城大手門に隣接して二の丸角櫓及び土塀が復元され、全園に囲まれる景観が完成しましたことは、大変喜ばしい限りです。

散策ルートとして設定された「水戸学の道」の命名は、地元の皆様方のご提案と御協力、関係各位の御協力とご協力に、心から敬意と感謝の意を表します。

市民の皆様におかれましては、同地区を散策して歴史や文化を堪能していただき、また、多くの観光客の皆様にも以下有る水戸の歴史や文化を体感していただきたいと思います。

結び、弘道館・水戸城跡周辺地区の整備完了を契機として、本市中心市街地の賑わいを創出し、賑わい創出につながることを切に願って、お祝いの言葉を申し上げます。

三の丸自治コミュニティ連合会会長 渡辺 政明

このたび、長年に渡り三の丸地区の歴史であった、弘道館・水戸城跡周辺地区が完了し、大手門復元や白壁櫓など本事業推進にあたりたい高橋市長をはじめ関係各位のご協力に心よりの敬意と感謝を申し上げます。

通学や生活や訪れる市民には、青柳公を代表する文藝家が集結する水戸が誇るランドマークです。

今、この整備に併せて、NHK大河ドラマ「青天を衝け」で弘道館水戸学跡の復元が放映され、弘道館水戸学跡の歴史を伝えることができます。

この水戸学の道エリアには、藤原弘道館を中心に弘道館から両端まで歩行者専用施設が整備され、毎朝3,300名を超える児童生徒が登校し、さらに水戸東武線や田舎車ラングラン、県立図書館などを

含めると十二の教育文化施設が立地し、県を代表する文藝家が集結する水戸が誇るランドマークです。

今、この整備に併せて、NHK大河ドラマ「青天を衝け」で弘道館水戸学跡の復元が放映され、弘道館水戸学跡の歴史を伝えることができます。

この水戸学の道エリアには、藤原弘道館を中心に弘道館から両端まで歩行者専用施設が整備され、毎朝3,300名を超える児童生徒が登校し、さらに水戸東武線や田舎車ラングラン、県立図書館などを

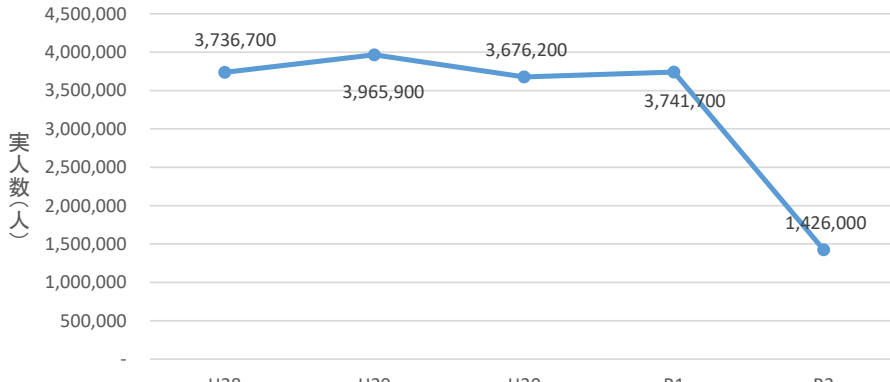
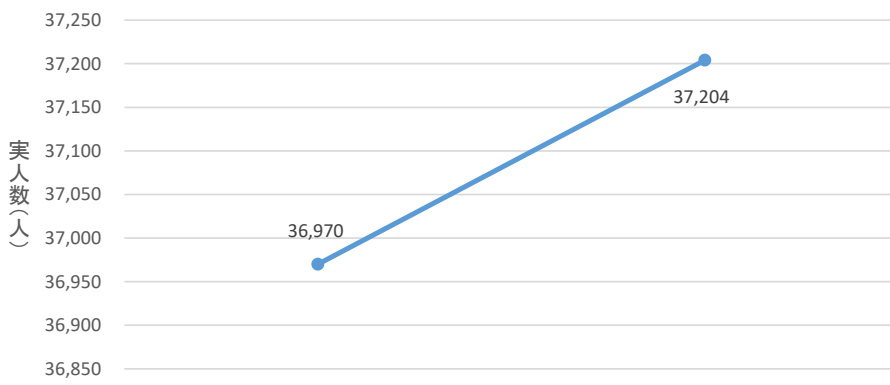
茨城新聞 令和3年6月24日付け

「弘道館・水戸城跡周辺整備完了 魅力引き出し、水戸らしさ再生」

※茨城新聞社転載許可済み

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和3年度																		
水戸市への観光客数の推移																					
計画に記載している内容																					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																					
本市の観光入込客数は、令和元年まで若干の差異はあるものの横這いであったが、令和2年については大きく減少する結果となった。一方、複数の整備事業が進行している弘道館・水戸城エリアの来場者数として、水戸城跡二の丸展示館の来館者数を見ると、令和2年度から3年度にかけて増加している。この期間中、新型コロナウイルスの流行に伴う行動制限により、実施を予定していたイベントの縮小・中止や、施設の臨時閉館が相次いだものの、令和2年2月に水戸城大手門、令和3年6月に水戸城二の丸角櫓がそれぞれ復元完成したため、増加したものと推察される																					
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																			
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし		新型コロナウイルスに関しては、終息の目途が不明瞭であるため、感染防止対策を十分に講じながら情報を発信する必要がある。																			
状況を示す写真や資料等																					
水戸市観光入込客数(H28～R2(暦年)) <table><tr><th>年度</th><th>実人数(人)</th></tr><tr><td>H28</td><td>3,736,700</td></tr><tr><td>H29</td><td>3,965,900</td></tr><tr><td>H30</td><td>3,676,200</td></tr><tr><td>R1</td><td>3,741,700</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,426,000</td></tr></table> ※茨城県「令和2年観光客動態調査」を基に作成 水戸城跡二の丸展示館来館者数(R2～R3(年度)) <table><tr><th>年度</th><th>実人数(人)</th></tr><tr><td>R2</td><td>36,970</td></tr><tr><td>R3</td><td>37,204</td></tr></table> ※水戸市作成(令和2年度から計測開始)				年度	実人数(人)	H28	3,736,700	H29	3,965,900	H30	3,676,200	R1	3,741,700	R2	1,426,000	年度	実人数(人)	R2	36,970	R3	37,204
年度	実人数(人)																				
H28	3,736,700																				
H29	3,965,900																				
H30	3,676,200																				
R1	3,741,700																				
R2	1,426,000																				
年度	実人数(人)																				
R2	36,970																				
R3	37,204																				

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和3年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和4年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和4年7月8日(金) 午後2時30分～午後4時00分 (会場: 水戸市役所3階 教育委員会室)	
(コメントの概要)	
1 進捗・評価シートについて ○ 偕楽園公園整備事業について(4頁) 景観維持、文化財保護の観点から課題もあると思うが、できるだけ障害者の方が一人で回れるような整備を意識していただきたい。県ホームページ掲載のバリアフリーマップも実態に即して更新していただきたい。 ○ 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業、都市景観形成助成事業について(6, 8頁) コンクリート造の外観復元建造物の例が多い中、大手門・二の丸角櫓は木造復元であり、長く保存できる建物として高く評価できる。また、こういった復元建造物が存在することによって、周辺の歴史的な景観形成事業を進める上で説得力が増し、住民や事業者の理解を得やすくしている。歴まち計画内の事業が連携して良い効果をもたらしている好事例であると感じる。 ○ 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業について(9頁) 今後整備するまちなか交流拠点には、水戸の歴史や見どころを解説する機能を備えていただきたい。 2 その他 ○ 水戸駅北口ペDESTリアンデッキのお休み処について お休み処(市管理)に水府提灯が飾り付けられているが、伝統的な形の提灯だけでなく、各提灯制作店が取り組んでいるアーティスティックな提灯も飾り付けることで、現在の水府提灯の魅力を発信できないか。水府提灯制作店や、お休み処の提灯を手配した水戸商工会議所とも連携してはいかがか。	
	
協議会の開催状況	
(今後の対応方針) ・水戸市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを目指し、県や関係機関との連携を密にし、計画内事業を適切に推進していく。	